

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所(南庁舎)福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

国

職業紹介・職業相談の実施等



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター3名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(25年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (平成26年3月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	支援対象者 1,310名 就職者 389名	支援対象者数 1,220名 就職者 331名

“豊饒” 人間主義都市 岐阜市

～人が織りなす絆とともに～

岐阜市長 細江茂光



- ◆ 市の福祉事務所では、生活保護を受けている市民の方への就労支援として、平成22年度から就労支援員を配置し、就職の決まらない方や、長期間就労されていない方を対象に、就労支援プログラムやキャリアカウンセリングによる相談・支援を行ってきました。
- ◆ 平成24年度からは、この市の行う就労支援と、ハローワーク岐阜が行う職業紹介や職業相談業務を、ワンストップで行うことができるよう、生活福祉課内に「はたらき支援ルーム」を開設いたしました。市のケースワーカーや就労支援員とハローワークの職員が連携して、より細かな就労相談・支援を行っています。
- ◆ これにより、生活保護を受けている方のみならず、生活困窮のために相談窓口を訪れた方に対して、よりタイムリーな相談・支援が可能となり、平成24年度は1,090人を支援し、303人が就職、112人が生活保護から脱却することができました。
- ◆ このように生活保護をはじめ、福祉サービスを提供する市と、職業紹介・相談を行う国とが、一体となって連携・協力する取り組みは、今後、増加が懸念される生活困窮の方への早期自立に向けた、新たな支援として大いに期待できるものです。
- ◆ 本市の掲げる、人と人との支え合う「人間主義都市」の実現に向け、国と自治体が手を携え、積極的な支援を進めてまいります。

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：30歳代・希望職種：倉庫作業

女性：50歳代・希望職種：清掃

① 求職者の課題

- 生活保護受給開始から2年経過しているが、求職活動も殆どしていない。
- 両手の甲までかかる、タトゥーを見られ就職への困難が予想された。

① 求職者の課題

- 中学卒業後、縫製工場に就職、その後パチンコ店に転職、結婚後は派遣会社を転々としており特別なスキルはない。
- 4年以上生活保護を受給をしているが、その間、求職活動もしておらず求職活動に自信がもてない。

② 紹介の経過

- 初回面談に遅刻、その後も遅刻や欠席を繰り返しており、必ず相談日に来所するよう説得を継続した。
- 倉庫作業に固執されたが通勤困難で応募に至らず。
- 相談の中で現在働いている週2日のバーのアルバイトの話から将来は自分の店を持ちたい夢を語られ、視点を変え求人検索と助言を行った。

② 紹介の経過

- 希望の清掃求人を提案するも応募の意欲が見られない。
- 中学卒業後の職歴の棚卸から何ができるか、興味があるかを探りながら、広く求人検索と提案を行ったところ、中学卒業後、経験した縫製仕上げの仕事をやりたいと明言された。

③ 結果

- バーのホールスタッフ（フルタイム）に採用。

③ 結果

- 1カ月の試用期間を経て仕上げ工（パート）に正式採用

④ 職業相談員の所感

- 最初、就労意欲も見られず相談日の遅刻も多くて、職業相談が進みませんでした。粘り強く相談に来るよう説得をしたことが、本人の希望を引き出すきっかけとなり、就職に繋がったと思います。

④ 職業相談員の所感

- 時間をかけて経歴を傾聴しながら履歴書の書き方を行ったことが、自己理解を促す動機付けとなり、良い結果となったと思います。

⑤ 本人のコメント

- 採用が決まると来所され、うれしそうに報告をされました。

⑤ 本人のコメント

- ひと月で辞めさせられるか心配だったが、正式に採用されて良かった。

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

女性：40歳代・希望職種：縫製

① 求職者の課題

- ・ 中学卒業後、9年間縫製工場の補助作業に就いた後、結婚。その後5年のブランクを経て、再び縫製工場でも長続きせず、飲食店を転々としていた。
- ・ 縫製工場の就労経験があるが、特別な技能は無く求職活動に自信が持てない。

② 紹介の経過

- ・ 初回面談以降も無断欠席、遅刻を繰り返し、必ず相談日に来所するよう説得と励ましを継続した。
- ・ 経験してきた仕事を思い出させ、縫製補助と清掃に絞り込みを行い毎回、応募を目指していくよう助言した。

③ 結果

- ・ 縫製補助（パート）に採用された。

④ 職業相談員の所感

- ・ 相談に来所された時も、面接の練習と認識していただき、明瞭な受け答えが出来るよう、相談したことが良い結果になったと思います。

⑤ 本人のコメント

- ・ たくさん応募しましたが希望通りの仕事に就け、うれしいです。

女性：40歳代・希望職種：飲食店接客

① 求職者の課題

- ・ 離婚後、中学生、小学生、幼稚園児と母親を扶養しており、収入の安定を図りたい希望があるが、母親の介護も必要である。

② 紹介の経過

- ・ 喫茶店での接客経験が長いことから、同職種に固執しているが、希望条件は9時から17時、土日休日、収入も高額と求人との差を知っていただく為、喫茶店以外の接客関係の求人を毎回、提案を行い2件以上の応募を目標とするよう提言した。

③ 結果

- ・ ホームセンターのレジ係に採用（パート時給820円）

④ 職業相談員の所感

- ・ 家庭状態から、就業時間も自ずと限定されることと併せ、将来の生活設計を話し合うことで良い結果に繋がったと思います。

⑤ 本人のコメント

- ・ 子供の手が離れたらフルタイムに登用されるよう頑張ります。